

令和4年第5回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和4年3月8日午後7時00分

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

出席者

衣笠教育長、吉田委員、山名委員、神尾委員、吉屋委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長

本日の会議に付した事件

報告事項

- 1 X中学校の不祥事について

議 事 報告事項 1 X中学校の不祥事について

○事務局 (報告事項1について説明)

○教育長 概要の報告をさせていただきました。なにかご質問ありますか。

○委員 子供にとってかしこくしなさい、ちゃんとしなさいという全く具体的ではない言い方が一番わかりにくいです。反抗的な態度だと感じるのは非常に感情的なものだと思います。相手が反抗的だと思えるような態度を取った場合、今の言い方のどこが悪かったのか自分の言い方を考え直すのが大人だと思います。それをしないで、反抗的な態度に腹を立てるのは非常にまずい。自分の言い方が通じなかったなら自分の言い方を反省するとか、どう言えばこの子がわかるのだろうかとかいろんな引き出しを持っているべきだし、そこを反抗的だからとカッとしてしまって手が出てしまう、相手がさらに言ったらもっと強く出てしまうのはどうしようもない。これは親でもダメだと思う。親でも先生でも一社会人として子供の対応をするときには、まずわかりやすく説明しないとイケない。相手がわからないときはわかるまでどんどん具体的に丁寧に伝えるしかない。そこで感情的になったらいけないし、教える側はそれでは絶対ダメ。反抗的な態度だと思ってしまった時点で相手を責めている。自分の説明が悪いのではなくて、相手の態度を責めている。先生方にも、校長先生にもそれに対して腹を立ててしまったことを、まず一番大事なことだと捉えていただきたい。その後の対応がいかに誠実なものであっても、こここのところは消せないと思うので最初の対応がとても大事だったなと思いますし、子供がやっていたことを止めるのに骨折までするものですか。

○委員 問題なのは先生の心の余裕のなさであって、子供はほうきの使い方でも、例えばバット振るみたいに掃くとかそういう遊び心ってあると思う。大人が子供に遊ばないで真剣にやってねと伝えても、子供はなかなかけじめがつけられないし、切り替えのできない、状況の読めない子はやはりいる。それに、先生と子供の関係で今までの付き合いの中で慣れの問題があって、普段の付き合いの中でのじゃれあいでも許せない範囲はあったと思う。それをある日突然その時だけに限り、言ったことを守らなかったから一瞬のうちにキレてしまった。この子は普段とあまり変わらない状況なのに自分の虫の居所の悪さなのか、その時の感情が入ってそれを容認できなくてキレてしまう。先生は普段と同じ視線で子供と過ごさないと感情の状態は掴みにくいと思う。子供が何でこういう反抗的な態度をとったか、普段の生活だとか、本当に些細なことだと思う。きちんと教える先生だとは思いますが、その時だけ視野を広げてみてなくて、普段からその子になにか根底的にあって、自分の勘に触るようなことがあったのかもわかりませんが、その人の気持ちが整理できていない。子供の言ういろんな言

葉、反抗的な言葉は親しみを込めた形のものがあるので、それを許容できる雰囲気でないから、キレてしまう。A教諭の心の狭さ、その子に対する接し方の中で子供に対する接し方で欠落したものがあって、それが一瞬ででてしまって、取り返しのつかないことになってしまった。誰でもキレることはあるけど、許せる範囲内での返答で済ませておけばよかったのに、一線を越えて骨折させてしまったら父親の考え方的に被害届を出すというのもあり得ることでしょうね。だから残念です。普段はきちんと容認できる形で対応できていただろうと思うのに、その時の感覚とか、キャパとか心の深さかわかりませんが、接し方に隙があったかなと思って残念です。

○委員 本当に残念と言うしかない気はします。骨折までさせたのはいけないし、こういう状況に追い込んでしまったA教諭に心の余裕がないのかなと思います。カッとなるのは人と人が接している時には必ずあることだと思うので、そういう時に自分なりの対処方法を持ってもう少し冷静になれたら、体の接触はあってもここまでいなくて済んだと思う。もうちょっと手前で自制して終われることだと思いますけど、カッとなって我を失いそうなときに、こうしょというのを普段から考えておかないといけないなと改めて思いました。あと一つ残念なのは、お母さんの連絡があって校長は知ったということですかね。この教諭からの報告はなかった感じで聞いたのですけれども、もしそうだとしたらこの部分も考えないと、現場としてなにかあったらいち早く報告するのを徹底しておかないと初期対応がどんどん遅れていく。その部分も気になりました。

○委員 指導力不足というか心の余裕のなさだと思うのですが、この教諭は普段からそういう態度のキレやすいというか口が悪いタイプの先生なののでしょうか。それとも不慮の事故でたまたま今回だけそうなってしまって反省もしているのでしょうか。今回だけ何でやったのかなって感じなのか、普段からそういう指導の仕方とか口の利き方なのかそういうタイプの人ではないのですか。というのも、この先生に限らず子供との会話の中で、あの先生はこうだとか現場を見てないからはっきりわかりませんが、そういうふうな指導の仕方の先生は部活動とかでもやっぱりいて、それ大丈夫かなっていう話をしている時もあるし、大ごとになりそうなことを聞いたりするのですが。今回大きな事故になってしまって、もちろん怪我の大きさと親の考え方にもよると思いますが、被害届を出すというところまでお父さんがおっしゃるといのは、普段からそういうタイプの教諭なのかなって思いました。こういうことが続くと信頼がなくなるし、一生懸命親身になってやってくださっている先生がほとんどですけど、ちらほらそういう先生がいるのを聞きますので事前に対策をできたかなと。

○教育長 教師としての悪い意味のプライドではなく、いい意味でのプライドと言いますか、相手のせいにするのではなく、自分なりの姿勢を持つことが大事だと思います。それと、体罰の事案が起こったのが3月2日、3月3日には学校長が教

育委員会の方に報告をしております。室長・部長・私が知ったのが本日の昼からということで、事案が起こってから長い時間なにをしていたのか、教育委員会の中の連絡体制といいますか組織としての在り方が問われるところだと思うので、大きく反省すべきだと受け止めているのですがそのことについてなにかご意見ありましたら。

○委員 3月2日の事案が教育長に伝わったのがいつの時点だと言われましたか。

○教育長 本日の昼からです。

○委員 本日初めて教育長に伝わったと。学校の方には連絡を密にしなさいというのに、教育委員会の中でここまでズレたら本末転倒もいいところで指導できるような立場になくなってしまいますよね。教育委員会の中で伝わりが悪いのは悲しい。教育委員会の中と学校の中は同じですからこれだと指導できないと思います。もう一回原点に帰って不祥事は即座に連絡しあうべきで、いろんな事案を共有して一丸となって対応できるようにしないと、被害者に対しても被害者の家族に対しても誠意な対応ができない。即座に対応することで誠意が伝わるし、一瞬の気のゆるみがあって故意ではなく、流れの中で偶発的な事故で結果的には傷害になりますけど、謝罪あるいは説明するにあたって、時間的ロスがあるのは誠意が伝わらないと思う。

○委員 ほうきの掃き方が悪いからって骨折させられているのは大失態ですよ。いち早く処置しないと大変な話だという危機感を感じていただけなかったのかなとすごく残念です。これは頭を下げるしかないのかなと思いますので、こういうことはいち早く教育長さんに連絡して、どうするか皆さんで共有していただいて、忙しいとは思いますがこういうことが続かないようお願いできたらありがたいなと思います。

○教育長 学校に対して指導していくべき組織の教育委員会の中で迅速な対応を行うべきところが、止まってしまっていた状況があったことは大きく強く反省すべきで今後そういったことがないよう、連絡体制がしっかりできるようなことを周知してすべきだと反省しております。私も含めて教育委員会全体で学校が保護者との対応をどういうふうにしていけばよいかというようなことを考えていくことによって、一人の人間が対応するのは結果も違って来たかもしれませんし、学校と担当だけの対応になってしまうのは重大なことに発展しかねないので、今後本当にそういうふうなこと、体罰の事案もそうですけど、それに加えて迅速な連絡体制、対応が滞ってしまったということに関しても再度反省しまして、しっかり徹底していきたいと考えております。

保護者の方と学校との話し合いがスムーズにいけない状況がありますので、子供さんが一日も早く治って元気になってくれるのがまず一番ですけれども、今後教育委員会として、保護者の方との話を行う中で学校が信頼関係を取り戻

して今後も関わっていけるような形を作っていきたいと思えます。学校でおこったことですが、当然教育委員会と連携した形で対応していきます。今の時点での報告で、詳細についてはわからない部分もありますし、保護者との信頼関係ができてないということをお伝えしましたが、そのあたり今後どうなっていくかはまた報告をさせていただいて、ご意見いただけたらと思えますので、今日のところのわかっている範囲でのご報告ということでこういう対応になっているのですけれども、なにかありましたら。

○事務局 教育委員会の中で報告が遅れたという部分ですが、課長がということも含めまして、事務の懈怠があったといわれても仕方ないというふうに認識をしておりますので、そういった部分が処分案件にあたるのかどうかまだわかりませんが、そういった部分に関して総務部の方に相談をかけたかと考えておりますので、なにか結果が出ましたらご報告させていただきます。

○教育長 貴重なご意見をたくさんいただきましたので、この辺も議会の方に繋いでいく予定をしております。教育委員の皆さんにも進捗についてご報告させていただきます。

---

令和4年3月8日 午後7時51分 教育長会議の閉会を宣告

---